

皐月を迎えて

分所長 高木敏彦

ゴールデンウィークを終えると、碧南分所の春の大祭を迎えます。祖霊様の合同慰霊祭も同時に毎年執り行っています。現界と霊界は写し世といえますから、霊界でも先祖の皆様で祭典を催していると思います。皆様の楽しい雰囲気をつぱい霊界に送り込み祖霊様に喜んで頂き、また良い気を現界の我々の所に返して貰いましょう。

10月12日に綾部の綾機平でエルサレム大本歌祭りが行われます。第2日曜日にあたりますので、分所月次祭を第1日曜日の5日に変更します。当日は本苑より団体バスを出しますので、是非ともご利用して参加ください。

道の光

(一〇六ページ)

出口 王仁三郎

神を主とし、親とし、友とし、力として進め。種々(くさぐさ)の苦しみ悩みにあうとも、心平らに安らかに、神の国の教えをさとるべし。人生の行路は、苦しみと悩みの横たわるものだ。ただただ、いつくしみ深き神の大道によりて進まば、いかなる悪魔にあり、苦しみにあうも、恐るるに足らざるなり。

病めるときにも、艱難のときにも、神を忘れず、神に一心をささげ、鎮魂によりて省みよ。神は厳のごとき心となしたまいて、いかなる病にも、苦しみにも、打勝つ力をさすけたまい、や

がて安きに救わせたもうべし。

生命の水は信仰の力である。刈り込みのときには、必ずその応報(むくい)はあらわれて、神の国の宝庫(みくら)にみたまれん。

一人の信徒を神の国の正道に導きしものは、神より百人を助けたる報いをあたえらるべし。取次たるものよ、信仰と善行をもつて、信徒を導き救うの要とせよ。

一人の信徒を失いたるものは、その罪、百人を損ないたるよりも重し。ゆえに一人の信者たりとも、神の愛したもうところの神子(みこ)なれば、おろそかにとり扱うことなかれ。

役員取次の名を笠に着て、人をみだりに裁くことなかれ。人を裁くものは、また神よりそのごとく。おのが身を裁きて、罪にさだめたもうべし。

稲の穂の実るにしがいて頭を垂るごとく、心の中に神徳のみつる人は自らへりくだるものなり。空(そら)むき高ぶりたき間は、誠の神徳(しんとく)の備りおらぬがゆえなり。

献詠歌の募集(エルサレム大本歌祭り)

10月12日の綾の聖地大本歌祭りに短歌を投稿しましょう。入花料はエスプラント語の場合は無料。日本語は1000円。日本語で投稿しエスプラント語への翻訳希望は2000円。

【投稿方法】郵便番号、住所、氏名(ふりかな)、電話番号を明記し、200字詰め原稿用紙などに記入し、郵送。メールの場合は件名を「綾の聖地エルサレム大本歌祭献詠歌」とする。

【送付先】人類愛善会事務局 献詠歌係

〒621 0851 亀岡市荒塚町内丸1

メール: mail@jinruizenkai.jp

【送金先】人類愛善会(ゆうちょ銀行口座) 010000782269

【締め切り】5月15日(木)必着

主な行事予定

5月5日(月)

みろく大祭 綾部梅松苑

5月11日(日) 午前10時半より

碧南分所春季大祭・合同祖霊慰霊祭

5月18日(日) 午前10時より

三河本苑春季大祭・祖霊慰霊大祭

5月25日(日) 午前10時より

東海教区錬成道場(青松会) 三河本苑にて

6月8日(日) 午後1時半より

碧南分所月次祭 担当 第3班

6月15日(日) 午前10時より

三河本苑月次祭

5月の誕生者

おめでとーございます！

大塚 英志 藤浦 直 高橋 まりな 江坂

元康 二日 樺山 勲 五日 杉浦 康幸 六日

奥谷 直人 一二日 市古 圭二 一四日 杉浦

梢 一九日 栗津 よし子 二〇日 奥谷 文子

二一日 蒲生 ゆい 二五日 高橋 直人 二六日

朝野 元子 二九日